



第75回

全国植樹祭

埼玉
2025

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

実施計画 〈概要版〉



埼玉県

● 目次

第1章 開催概要

1. 開催理念 2
2. 大会テーマ 3
3. シンボルマーク 3
4. 大会ポスター原画 3
5. 開催日 4
6. 開催規模 4
7. 開催会場 5

第2章 式典行事計画

1. 式典演出計画 6
2. 式典進行計画 7

第3章 植樹行事計画

1. お手植え計画 12
2. お手播き計画 15
3. 招待者記念植樹計画 17

第4章 会場整備計画

1. 施設配置計画 18
2. 主要施設計画 19

第5章 運営計画

1. 招待者行動計画 20
2. 作品御覧・御懇談計画 21
3. 会場おもてなし計画 22
4. サテライト会場計画 23
5. 消防・防災・警備計画 24

第6章 宿泊・輸送計画

1. 宿泊・輸送計画 25

第7章 荒天時式典計画

1. 荒天時会場 26
2. 開催規模 26

第8章 記念事業計画

1. 記念事業 27

第9章 広報・協賛計画

1. 広報計画 29
2. 協賛計画 30

【表紙写真】



- ①西川林業地の人工林
- ②苗木のスクールステイ
- ③狭山茶の茶畑
- ④埼玉ブランドのいちご「あまりん」
- ⑤埼玉ブランドの梨「彩玉(さいぎょく)」
- ⑥こうのす川幅うどん
- ⑦秩父ミュージアムパークからの展望
- ⑧小江戸川越のシンボル 時の鐘
- ⑨ユネスコ無形文化遺産 秩父夜祭
- ⑩岩槻のひな人形
- ⑪日本の公園の父 本多静六博士
- ⑫国の名勝・天然記念物 長瀬渓谷
- ⑬三富新田の「地割」

1. 開催理念

- 適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。
- 豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどりを共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。

埼玉県は、関東平野の内部に位置する内陸県であり、原生林を残す奥秩父の山々や武蔵野の面影を残す雑木林に代表される里山・平地林、首都圏の主要な水源である荒川や利根川をはじめとする豊富な清流・河川など豊かな自然に加え、産業、歴史、伝統文化など多彩な特性に恵まれ、住みよい生活環境を有しています。

本県の森林は、奥地に残されたシラビソ等の貴重な原生林から、山地・丘陵地のスギ・ヒノキ人工林、都市近郊に残されたコナラ・クヌギ等の平地林に至るまで、多彩な姿を見ることができます。

森林には動植物から微生物まで多様な生物が生息し、それらが健全に維持されることで木材の供給のほか、水源の涵養や地球温暖化の防止、国土保全、保健・レクリエーションなど様々な多面的機能を発揮し、私たちの安全・安心な生活に欠くことのできない恩恵をもたらしてくれます。

近年、記録的な大雨等の増加などの気候危機は、全国的に流木を含む土砂災害を発生させ大きな被害をもたらしています。このため、森林の土砂災害防止機能を高め防災・減災対策を進める上でも、間伐や再造林などの適切な森林整備を積極的に行うことが求められています。

また、深刻化しつつある地球温暖化は、私たちの生存基盤に関わる最も重要な環境問題で世界的に対策に取り組むことが求められ、2020年（令和2年）10月に、我が国は2050年（令和32年）までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」、 「脱炭素社会」の実現を目指すことを宣言しました。

この実現には、「伐って・使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を推進し、森林の若返りと木材の利用拡大を図ることで、森林による二酸化炭素の吸収・固定機能と木材利用による炭素の貯蔵効果を高めていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、私たちは豊かな森林・みどりを利用しながら守り育て、次の世代へ引き継いでいくため、開催理念の下、全国植樹祭を開催します。



金尾山(寄居町)



里山・平地林(狭山市)



人工林(飯能市)



駅自由通路(幸手市)



森づくり活動(越生町)

2. 大会テーマ

全国から応募があった2,000点の作品の中から、選定しました。

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

つかもと みゆき

作者：塚本 美幸さん(埼玉県川越市)

[選定理由]

山村や都市など県に暮らす「人」が、植樹によって「森」を育み、森林から流れ出る「川」によって人々の生活が潤される営みを「未来」の子供たちにつないでいこうという強い思いが込められており、開催理念が見事に表現された作品となっています。

3. シンボルマーク

全国から応募があった664点の作品の中から、選定しました。



いしづき あきひこ

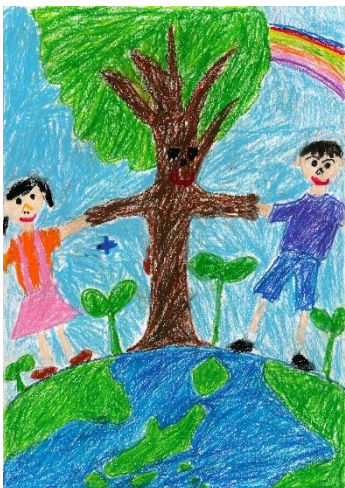
作者：石附 秋彦さん(東京都)

[選定理由]

埼玉県のマスコット「コバトン」と「さいたまっち」が、大きく力強く配置され、大会テーマにある「森」と「川」が明確にバランス良く描かれています。虹は、彩の国の彩りを表すとともに、未来へつながる架け橋をイメージさせます。大会テーマが盛り込まれた、大会にふさわしい作品となっています。

4. 大会ポスター原画

埼玉県内の小中学校及び高等学校などの児童・生徒から応募があった228点の作品の中から、選定しました。



タイトル：「みどりをだいじにしよう」

いばら れお

作者：井原 礼央さん

(埼玉県所沢市 西武学園文理小学校2年生 *選定時)

[選定理由]

地球から芽吹く若葉と大きく成長した樹木は、植樹の大切さを力強く訴えかけます。その樹木が未来を担う子供たちと手をつないでいる姿が、大会テーマ「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」のイメージを印象深く表現している作品です。

5. 開催日

令和7年（2025年）5月25日（日）

6. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員・協力員等を含め、5,000人程度の規模で開催します。ただし、荒天時は規模を縮小します。

区 分	参加予定者数	内 訳
中央特別招待者	30 人	国関係者、県関係者 等
県外招待者	1,080 人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	2,390 人	県関係者、市町村関係者、学校関係者、 森林・林業・緑化関係団体、森林ボランティア、 公募招待者、県実行委員会 等
実施本部員・協力員等	1,500 人	実施本部員、協力員、出演者 等
合 計	5,000 人	

※ 新型コロナウイルス等の感染症拡大など、新たに見直すべき事象が発生した場合には、開催規模を再検討します。



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

7. 開催会場

(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施します。また、各種の展示PR等を行うおもてなし広場を設置し、招待者を歓迎します。

◆秩父ミュージックパーク（秩父市、小鹿野町）



秩父ミュージックパークは、秩父市と小鹿野町にまたがる豊かな自然環境に恵まれた長尾根丘陵に、音楽堂・野外ステージ、ミュージックの泉、大庭園などの芸術・文化施設、多彩なスポーツ施設があり、四季折々の自然とともに楽しめる公園です。

(2) 植樹会場

県内外の参加者が記念植樹を行う植樹会場を秩父ミュージックパーク内に設置します。

(3) サテライト会場

より多くの県民と開催理念を共有し、全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場を県内に設置します。サテライト会場では式典の様態を中継するほか、各種のPR展示を行います。

会場名	所在地
エミテラス所沢	所沢市
深谷テラスパーク	深谷市
モラージュ菫蒲	久喜市



エミテラス所沢



深谷テラスパーク



モラージュ菫蒲

1. 式典演出計画

式典の構成は、「プロローグ」「記念式典」「エピローグ」の3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	【気づき】 人・森・川 つながる彩の国	○参加者を歓迎する気持ちを表現。 ○埼玉県の豊かな自然や文化、森林・林業を紹介しながら、埼玉県における「人・森・川のつながり」にフォーカスし、県民パフォーマンスを交えて表現。
記念式典	【約束】 ここから未来へ つなげる彩の国	○天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行う。 ○森林の多面的機能に注目しながら、県民の活動が、未来へとつながっていくことにフォーカスし、大会テーマ「人・森・川 つなげ未来へ彩の国」をわかりやすく表現。埼玉県の豊かな森林を次世代へとつなげることを誓う。
エピローグ	【ハーモニー】 誓いと行動 奏でる彩の国	○森林を次世代につなぐ誓いを、全国からの参加者と共有し、未来へと向かうフィナーレ。



記念式典の様子
(第73回全国植樹祭岩手大会)



プロローグの様子
(第73回全国植樹祭岩手大会)

2. 式典進行計画

(1) 式典スケジュール

所要時間	項目	内容
開場	招待者入場	・来場者歓迎、埼玉県の紹介 ・インフォメーション（式典スケジュールの案内等）
プロローグ / 13:05～14:00		
55分	歓迎のあいさつ	・秩父市長
	プロローグアトラクション	【気づき】人・森・川 つながる彩の国
	感謝状の贈呈	・埼玉県知事から「大会テーマ」、「シンボルマーク」、「大会ポスター原画」作者へ感謝状贈呈
	記念切手の贈呈	・日本郵便株式会社から埼玉県へ 国土緑化運動記念切手贈呈
	記念式典の案内	
記念式典【天皇皇后両陛下下御臨席】 / 14:00～15:00		
60分	天皇皇后両陛下下御到着	
	開会のことば	・(公社)国土緑化推進機構副理事長
	三旗掲揚・国歌独唱	
	主催者あいさつ	・大会会長 ・埼玉県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	・緑化功労者等への表彰
	苗木の贈呈	・緑の少年団から、農林水産大臣、環境大臣へ苗木の贈呈
	お手植え・お手播き	・天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き
	代表者記念植樹	・特別招待者による植樹
	大会テーマの表現	【約束】ここから未来へ つなげる彩の国
	大会宣言	・(公社)国土緑化推進機構理事長 ・埼玉県立秩父農工科学高等学校グリーンアクティビティクラブ
	リレーセレモニー	・次期開催県（愛媛県）へ木製地球儀の引継ぎ
	閉会のことば	・埼玉県議会議長
	天皇皇后両陛下下御出発	
エピローグ / 15:00～15:15		
15分	感謝のあいさつ	・小鹿野町長
	エピローグアトラクション	【ハーモニー】誓いと行動 奏でる彩の国
	終了	

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	出演シーン等
1	大会会長（衆議院議長）	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者あいさつ ③表彰 （国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	埼玉県知事	①感謝状の贈呈 ②記念切手の贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者あいさつ ⑤表彰（埼玉県緑化関係表彰） ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰（緑化功労者） ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰（全日本学校関係緑化コンクール）
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	愛媛県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事あいさつ
9	埼玉県議会議長	○閉会のことば
10	秩父市長	○歓迎のあいさつ
11	小鹿野町長	○感謝のあいさつ
12	日本郵便株式会社 代表取締役社長	○記念切手の贈呈
13	受賞者 ・大会テーマ作者 ・シンボルマーク作者 ・大会ポスター原画作者	○感謝状の贈呈
14	受賞者 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ・埼玉県緑化関係受賞者代表	○表彰

(3) 出演者一覧

項目		人数	出演者／団体名
総合司会		1名	・堀尾正明
式典進行役		3名	・埼玉県立浦和第一女子高等学校 ・埼玉県立川越女子高等学校
手話通訳・要約筆記		7名	・埼玉聴覚障害者情報センター
式典アシスタント		16名	・埼玉県立小鹿野高等学校 ・埼玉県立秩父高等学校 ・埼玉県立秩父農工科学高等学校 ・埼玉県立皆野高等学校
式典音楽隊（吹奏楽）		80名	・埼玉県立上尾高等学校 ・埼玉県立朝霞高等学校 ・埼玉県立伊奈学園総合高等学校 ・埼玉県立浦和第一女子高等学校 ・埼玉県立大宮光陵高等学校 ・さいたま市立大宮国際中等教育学校 ・埼玉県立大宮南高等学校 ・埼玉県立川口高等学校 ・埼玉県立川口北高等学校 ・埼玉県立久喜高等学校 ・埼玉県立越谷南高等学校 ・学校法人佐藤栄学園栄北高等学校 ・学校法人佐藤栄学園栄東高等学校 ・埼玉県立秩父高等学校 ・埼玉県立滑川総合高等学校 ・埼玉県立不動岡高等学校 ・学校法人小林学園本庄東高等学校 ・埼玉県立松伏高等学校
式典音楽隊（合唱）		100名	・埼玉県立伊奈学園総合高等学校 ・埼玉県立浦和高等学校 ・埼玉県立浦和第一女子高等学校 ・埼玉県立大宮高等学校 ・埼玉県立川越高等学校 ・埼玉県立松山女子高等学校
式典出演者	介添え 三旗掲揚 苗木の贈呈 大会宣言	72名	・緑の少年団 ・ボーイスカウト埼玉県連盟 ・（一社）ガールスカウト埼玉県連盟 ・埼玉県立秩父農工科学高等学校グリーンアクティビティクラブ
	プロローグ アトラクション 大会テーマの表現 エピローグ アトラクション	200名程度	○ナビゲーター 林家たい平、朝日奈央 ○ダンス ・学校法人大妻学院大妻嵐山高等学校 ・埼玉県立芸術総合高等学校 ・学校法人佐藤栄学園埼玉栄高等学校 ・学校法人佐藤栄学園栄北高等学校 ・窪内絹子&YOKOモダン・バレエスタジオ ・文月玲バレエスタジオ ・マヤバレエスタジオ ・モダンバレエAM ・緑の少年団 ○子役 竹田翔汰、福島葵、松野晃士、渡辺心優 ○森の達人 県内林業関係者（映像出演） ○伝統芸能 秩父屋台囃子保存会 ○声楽家 原田勇雅 ○ヴァイオリン演奏 桑原香矢 ○専門家 犬井正 ○和太鼓演奏 学校法人越生学園武蔵越生高等学校 ○国歌独唱 富田千種 ○メッセージ発信者 県内林業・木材産業関係者 ○大会テーマソング歌唱 吉澤嘉代子
合計		480名程度	

(4) 式典演出の概要

アトラクションは、3つのアトラクションを通して、大会テーマ「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」を多くの県民参加で、ストーリー性豊かに表現します。

埼玉県多彩な森林を次世代へとつなげ、これからも輝く未来を実現することを参加者全員で誓う演出とします。

<アトラクションナビゲーター>



林家たい平さん



朝日奈央さん

プロローグアトラクション

気づき

～人・森・川 つながる彩の国～

埼玉県の豊かな自然や文化、森林・林業を紹介しながら、埼玉県における「人・森・川 のつながり」にフォーカスし、県民パフォーマンスを交えて表現します。

- 林家たい平師匠によるふるさと秩父の思い出語りを呼び水に、みんなの胸にそれぞれの森林の思い出が絵日記のごとく浮かびます。
- 森林資源の活用・木材の利用拡大を図る「活樹」の必要性を紐解きます。
- 「山林の唄」として、光あふれる秩父の山林を保つ人たちとの出会いと、そのふもとで育まれてきた暮らしと文化の輝きを、映像、ダンス、伝統芸能を交えて描きます。
- 「平地林の唄」として、里の暮らしと共存してきた武蔵野の森林の特徴を学ぶとともに懐かしい情景を文豪や本多静六氏目の通して描きます。
- プロローグアトラクションの各シーンで登場した「森」や「人」等のパフォーマーが、「川」を仲立ちとしてつながり、その様を音楽とパフォーマンスで表現します。

記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、緑化功労者等の各種表彰、苗木の贈呈、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を実施します。



お手植え



お手播き



各種表彰



苗木の贈呈



リレーセレモニー

大会テーマの表現

約束

～ここから未来へ つなげる彩の国～

森林の多面的機能に注目しながら、県民の活動が未来へとつながっていくことにフォーカスし、大会テーマをわかりやすく表現。森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」を推進し、埼玉県多彩な森林を次世代へとつなげていくことを誓い、全国へ発信します。

- 朝日奈央さんのナビゲートで、日本で最初の林学博士「本多静六氏」を紹介。
- オリジナル楽曲によって、彩の国をめぐる「水の環」と彩の国に広がる「森の環」が水の循環と森の関わりをダンスで表現します。
- 森林の多面的機能を紹介し、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の重要性を訴えます。
- 水の環、森の環、人の環、3つの環が絡み合う中、「伐って」「使って」「植えて」「育てる」サイクルに深く関わる林業・木材産業関係者の決意表明が行われます。
- 音楽隊がオリジナル楽曲を演奏する中、水の環と森の環は輪舞し、人の環はそれらに寄り添います。本多静六博士の思いと、県民の決意を融合させた歌詞を歌い上げ、大会テーマを感動的に表現します。



「水の環」



「人の環」



「森の環」



本多静六博士

エピローグアトラクション

ハーモニー

～誓いと行動 奏でる彩の国～

森林を次世代へとつなぐ誓いを、全国からの参加者と共有し、未来へとむかうフィナーレです。

- ナビゲーターの林家たい平さんと朝日奈央さんと一緒に式典を振り返ります。
- 「活樹」の推進について、埼玉からメッセージを発信し、改めて訴えます。
- 全ての出演者が登場するとともに、吉澤嘉代子さんが大会テーマソングを歌唱し、感動のフィナーレを迎えます。

1. お手植え計画

- (1) 天皇皇后両陛下にお手植えとお手播きを賜ります。その樹種については、本県の気候風土にあった在来の樹種で、県民に親しみのあるものを選定します。
- (2) お手植えされた記念樹は、第75回全国植樹祭の開催を記念し、豊かな森林づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。
- (3) お手播きされた種子から養成された苗木は、県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



天皇陛下お手植え(第73回全国植樹祭岩手大会)



皇后陛下お手播き(第73回全国植樹祭岩手大会)

■ 天皇陛下お手植え樹種（3種）

ケヤキ

- ・ケヤキは県内に自生し屋敷林や学校、社寺などに植えられており、県の木として県民に広く親しまれています。
- ・大木に成長し、遠くからでもわかる美しい扇形の樹形になるのが特徴です。
- ・市や町の木としても多く指定されています。



スギ（少花粉）

- ・スギは県内の人工林の6割以上を占め、次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。
- ・昭和34年に開催された第10回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。
- ・少花粉スギを使用したコンテナ苗*の生産を開始し、花粉症対策と造林コストの低減に取り組んでいます。



*培土と根が一体となった「根鉢」を形成した苗木

トチノキ

- ・トチノキは県西部の山地に広く自生し、都市部では街路樹として利用されています。
- ・実や葉は古くから本県の食文化に深い関わりがあり、秩父地域では栃の実を使った「栃もち」や餅米などを栃の葉で包んで煮る「つとっこ」などの伝統食が残されています。



■ 皇后陛下お手植え樹種（3種）

ヒノキ（少花粉）

- ・ヒノキはスギに次いで県内の人工林の多くを占める樹種で、スギと並び次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。
- ・昭和34年に開催された第10回全国植樹祭で昭和天皇香淳皇后両陛下がお手植えされ、香淳皇后がお手播きされた樹種です。
- ・県内では少花粉の苗木を植栽し、花粉症対策に取り組んでいます。



コナラ

- ・コナラは武蔵野の面影を残す平地林や里山を構成する代表的な樹種です。
- ・三富地域の平地林では、江戸時代から落ち葉を使った循環型農業が営まれ、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は世界農業遺産にも認定されました。
- ・全国的に発生しているナラ枯れは高齢木や大径木に多いことから、苗木を植えてコナラ林の若返りを図ることが有効な対策であることを発信していきます。



ヤマザクラ

- ・サクラは日本人に深く愛されている樹種で、県内においても地域の人々によってさまざまな種類の樹木が大切に守り育てられています。
- ・選定したヤマザクラは、野生サクラの代表的な樹種で、式典会場のある秩父地域などの山地や里山に自生しており、県民にも広く親しまれています。



2. お手播き計画

- (1) 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- (2) お手播きされた種子から養成した苗木は、埼玉県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配布します。

■ 天皇陛下お手播き樹種（2種）

ヒノキ（少花粉）

- ・ヒノキはスギに次いで県内の人工林の多くを占める樹種で、スギと並び次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。
- ・昭和34年に開催された第10回全国植樹祭で昭和天皇香淳皇后両陛下がお手植えされ、香淳皇后がお手播きされた樹種です。
- ・県内では少花粉の苗木を植栽し、花粉症対策に取り組んでいます。



アカシデ

- ・アカシデはコナラと並び本県の里山・平地林を構成する主要な樹種で、盆栽や庭木としても利用されています。
- ・若葉は赤色で目立ち、花（果）穂の垂れ下がる様子がしめ縄に飾る四手（しで）に似ていることから、この名が付けられたとされています。



■ 皇后陛下お手播き樹種（2種）

スギ（少花粉）

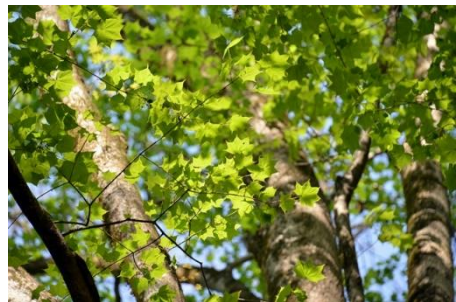
- ・スギは県内の人工林の6割以上を占め、次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。
- ・昭和34年に開催された第10回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。
- ・少花粉スギを使用したコンテナ苗*の生産を開始し、花粉症対策と造林コストの低減に取り組んでいます。

*培土と根が一体となった「根鉢」を形成した苗木



イタヤカエデ

- ・イタヤカエデは県内の山地に自生し大木になるカエデの樹種です。
- ・本県は全国的にもカエデの種類が豊富であることから、カエデの樹液を利用した菓子作りや清涼飲料の開発など、新たな森林資源の活用に取り組んでいます。



3. 招待者記念植樹計画

- (1) 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による記念植樹とします。
- (2) 埼玉県の気候風土に適した樹木を植樹します。
- (3) 苗木のスクールステイにより、子供たちが育てた苗木も使用します。

■ 招待者記念植樹樹種

会場名	主な樹種	本数
秩父ミュージズパーク	クスノキ、スダジイ、タブノキ、アカシデ、アラカシ、イヌシデ、エノキ、クサボケ、クヌギ、コナラ、シラカシ、ハンノキ、ヒサカキ、ヤマザクラ、アオハダ、イロハモミジ、ウワミズザクラ、エゴノキ、オニグルミ、ガマズミ、キハダ、クリ、ケヤキ、ヒメコウゾ、サンショウ、タラノキ、ホオノキ、ミズキ、ヤマグワ、アオダモ、イタヤカエデ、エドヒガン、オオバアサガラ、カツラ、クロモジ、シラカンバ、トチノキ、メグスリノキ、ヤマボウシ、ヤマツツジ、ウメ、イチョウ、スギ、ヒノキ、カヤ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ムクノキ 以上 48種	約3,500本



(C) 岩手県森林整備課



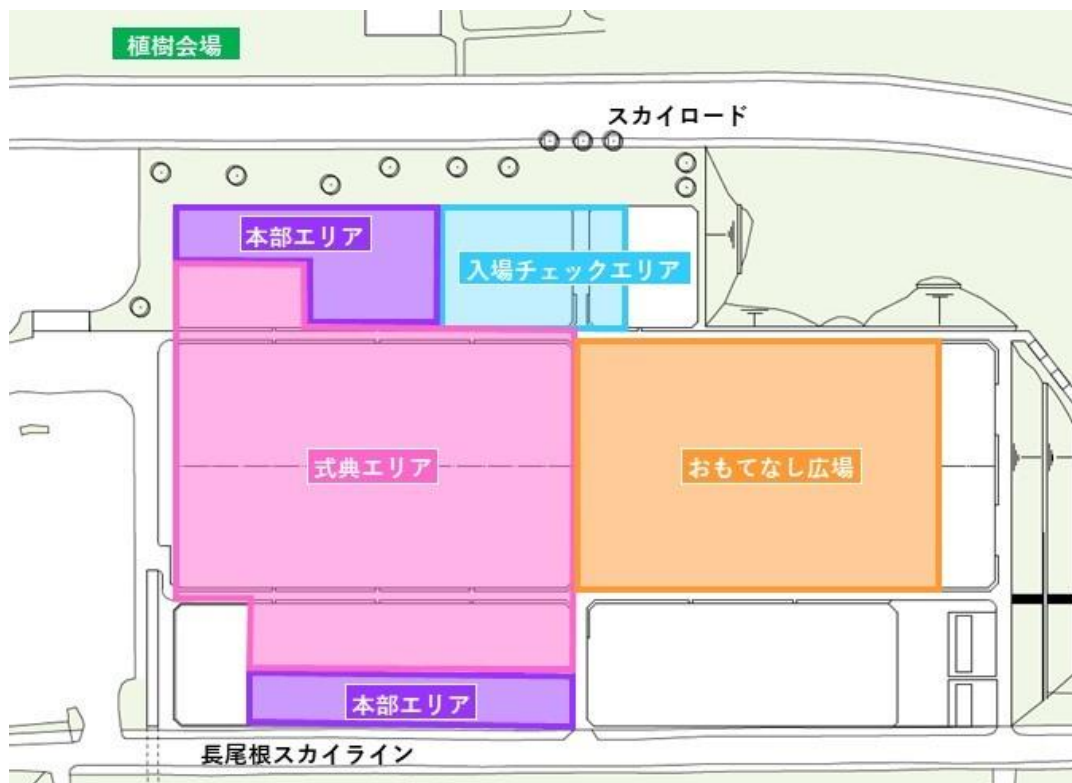
(C) 岩手県森林整備課

招待者記念植樹の様子(第73回全国植樹祭岩手大会)

1. 施設配置計画

会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。

■ 式典会場エリア図



■ 式典会場イメージ



2. 主要施設計画

(1) お野立所^{のだてしよ}

- ・木組みで構成された屋根は、秩父地域の連なる山々を表現するなど、会場周辺の景観と調和したデザインとなっています。
- ・屋根は、羽ばたく鳥も表現しており、人・森・川をつないだ埼玉県が未来へ飛翔する思いが込められています。
- ・県産木材を使用して建築します。
- ・経費の節減に努めるとともに、大会終了後は部材として再利用することを考慮します。



お野立所のイメージ

1. 招待者行動計画

(1) 当日スケジュール

時間	全体進行	① 中央 特別招待者 30人	② 特別招待者		③ 一般招待者	
			県外 320人	県内 460人	県外 760人	県内 1,930人
			指定宿泊施設等	指定集合地	指定宿泊施設等	指定集合地
			↓			
			到着			
		指定宿泊施設等	記念植樹			
			↓			
			入場チェック			
			↓			
	おもてなし広場	到着・昼食	昼食・おもてなし広場自由見学等			
			↓			
	招待者完全着席	招待者完全着席				
13:05	プロローグ	プロローグ				
14:00	式典	代表者植樹	式典			
15:00	エピローグ	会場出発	エピローグ			
15:15	おもてなし広場		↓			
		駅等	順次会場出発			
			↓			
			駅等	指定解散地	駅等	指定解散地

※ 式典行事の開始時間や招待者の行動計画は変更となる場合があります。

2. 作品御覧・御懇談計画

(1) 作品御覧

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第75回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

<主 催>	公益社団法人 国土緑化推進機構、埼玉県
<開 催 日>	全国植樹祭開催の前日
<出 席 者>	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者 第75回全国植樹祭大会ポスター原画作者

(2) 御懇談

天皇皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場とします。

<主 催>	埼玉県
<開 催 日>	全国植樹祭開催の前日
<御懇談対象者>	緑化功労者等

3. 会場おもてなし計画

- (1) おもてなし広場を設置し、招待者が安心して快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待所、救護所を配置します。
- (2) 本県の森林づくり活動の取組や、観光・県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内、地場産品等を取り揃えた物産販売ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- (3) おもてなしステージでは、本県を代表する郷土芸能等を紹介します。
- (4) おもてなし広場は、出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努めます。

区分	場所	内容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内、情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配付、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	郷土芸能等の披露
	湯茶接待所	参加者に湯茶、ミネラルウォーター等の提供
	展示コーナー	埼玉県内の森林・林業、観光等の紹介
	販売コーナー	埼玉県内の特産品や飲食物の販売
	休憩コーナー	休憩用のテントの設置
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便や宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護



おもてなし広場の様子(第73回全国植樹祭岩手大会)

4. サテライト会場計画

- (1) 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第75回全国植樹祭を身近に感じていただくため、エミテラス所沢、深谷テラスパーク、モラージュ菖蒲にサテライト会場を設置し、式典の放映や各種出展ブースを設置します。
- (2) 地域や家庭で植樹してもらうため、来場者の方々に苗木を無料で配布します。

エミテラス所沢

令和6年秋にオープンした、所沢駅に近接する広域集客型商業施設

【実施予定内容】

- ・式典中継
- ・苗木の無料配布
- ・木工体験
- ・木工製品の展示、販売
- ・森林林業パネル展示
- ・音楽イベント 等



©西武リアルティソリューションズ

深谷テラスパーク

農業と観光の魅力を発信する場として令和4年にオープンした総合施設

【実施予定内容】

- ・式典中継
- ・苗木の無料配布
- ・木工体験
- ・木工製品の展示、販売
- ・森林林業パネル展示
- ・音楽イベント 等



モラージュ菖蒲

本多静六博士の生誕の地である久喜市菖蒲町内の大型ショッピングモール

【実施予定内容】

- ・式典中継
- ・苗木の無料配布
- ・木工体験
- ・木工製品の展示、販売
- ・森林林業パネル展示
- ・音楽イベント 等



©岩手県森林整備課



©岩手県森林整備課

[参考: サテライト会場の様子(第73回全国植樹祭岩手大会)]

5. 消防・防災・警備計画

(1) 基本的な考え方

- ・招待者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- ・消防、警察署、その他関係機関との協力体制を築き、密接な連携を図ります。
- ・特に危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成するとともに、事前研修を行います。

(2) 消防・防災

- ・実施本部の安全衛生部（消防防災班・警備班）が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- ・会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ・おもてなし広場やサテライト会場の火気使用についても管理を徹底します。

(3) 避難計画

避難計画を策定の上、実施本部員等に周知徹底を図り、招待者全員が安全に避難できる体制を整備します。

1. 宿泊・輸送計画

- (1) 式典前日、宿泊招待者（主に県外招待者）は、第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会が指定する県内の施設に宿泊することを原則とします。
- (2) 式典当日は、原則、宿泊施設や県内各地に指定する集合地から第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会が手配する計画輸送バス等により式典会場などに移動することとします。



招待者誘導の様子(第73回全国植樹祭岩手大会)

1. 荒天時会場

秩父宮記念市民会館（秩父市熊木町8-15）



【秩父宮記念市民会館】



【大ホール フォレスタ】

2. 開催規模

県内外から参加する招待者、協力員、スタッフ等を合わせて1,000人程度の規模で開催します。

招待者区分		内容	人数
①中央特別招待者		国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、埼玉県知事、県議会議員、次期開催県知事等	30 人
②特別招待者	県外特別招待者	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員等	320 人
	県内特別招待者	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等	460 人
小計			810 人
③実施本部員・協力員等		実施本部員、協力員、出演者 等	100 人
合計			910 人

※ 新型コロナウイルス等の感染症拡大など、新たに見直すべき事象が発生した場合には、開催規模を再検討します。

1. 記念事業

第75回全国植樹祭 1年前記念イベント

全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、記念イベントを開催しました。

【開催日】令和6年6月15日（土）

【開催地】イオンレイクタウン（越谷市）

【内 容】①記念式典

代表者記念植樹、「木製地球儀」巡回展示出発式、大会テーマソング発表 ほか
②トークイベント・その他

トークイベント、全国植樹祭PR活動「どこでも植樹祭」、森林・林業に関するPR展示、ワークショップ、植樹祭に関するクイズラリー、苗木のプレゼント ほか



カウントダウンイベント

第75回全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催200日前などの節目の時期にカウントダウンイベントを開催します。

区分	開催日	開催地	内容
200日前	令和6年 1月14日(木)	埼玉県庁	カウントダウンボード お披露目式 等
100日前	令和7年 1月25日(土)・26日(日)	秩父市内	記念植樹 等

苗木のスクールステイ

緑の大切さと森林づくりへの関心を高めるため、全国植樹祭やイベントで植樹する苗木を、延べ203団体の保育所、幼稚園、小・中・特別支援学校等の園児、児童、生徒及び緑の少年団の協力により大切に育成しています。

「木製地球儀」巡回展示

第75回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会のシンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

令和6年6月15日に、越谷市（第75回全国植樹祭1年前記念イベント）で出発式を行い、最終巡回地である深谷市において、令和7年3月27日に展示終了予定です。



記録誌の発行、記録映像の作成

第75回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組を、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配付します。

記念碑の建立

第75回全国植樹祭の開催を記念し、令和7年秋季以降に記念碑を建立します。

1. 広報計画

(1) 「どこでも植樹祭」の実施

県内で実施される各種イベントに合わせ、「どこでも植樹祭」と銘打ち、全国植樹祭のPR活動を実施します。ブース展示、PRグッズの配布、苗木の配布など、会場の規模等に応じてPRを行います。



ブース展示の例

(2) インターネット・SNSの活用

第75回全国植樹祭の公式ホームページやX、Instagramを開設し、様々な取組や関連イベント等に関する情報を積極的に発信します。

(3) 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かな情報提供とPR活動を実施します。

(4) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、第75回全国植樹祭や関連事業などに関する情報が広く発信されるよう、情報提供します。

(5) 企業・団体等との連携

シンボルマークやロゴマークの使用を広く呼びかけるなど、企業・団体等の支援や協力による広報活動を通じ、大会開催の周知を図ります。

また、企業・団体等と連携したイベントを通じて、来場者に向けてPR活動を実施します。

(6) 全国植樹祭情報誌等の発行

「第75回全国植樹祭だより」を発行し、大会に向けた取組状況や県民参加の森林づくり活動等に関する情報を発信します。

(7) PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成し、各種イベントなどで配布することで全国植樹祭の周知と機運の醸成を図ります。

2. 協賛計画

第75回全国植樹祭に向けて、この趣旨に賛同する団体や企業等と協働・連携した開催とするため、県内外から幅広い協力を得る仕組みとして、協賛制度を創設します。

協賛企業等には、第75回全国植樹祭会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載するなど、様々な特典を提供します。

(1) 資金協賛

第75回全国植樹祭や各種記念行事等の開催に関わる資金協力

(2) 物品協賛

第75回全国植樹祭や各種記念行事等の開催に関わる物品協力

(3) その他の協賛

車両・機器等の貸与や役務提供、広告活動等による広報などの協力



第75回全国植樹祭 実施計画 〈概要版〉

令和7年1月

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会事務局
(埼玉県農林部全国植樹祭推進課内)

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号
電話番号：048-830-4306 ファクス番号：048-830-4771
ホームページ：<https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>
又は「第75回全国植樹祭」で検索してください

